

(2018. 10)

## 解答例

### 【問一】

一、執筆された年月日……文永10年（1273年）4月25日

正式な題号……如来滅後五五百歳始観心本尊抄

二、

イ、摩訶止観

ロ、(順に) 一心 三千

三、

イ、教門

ロ、非情に色心の二法・十如是が具わっていることが難信難解であること

四、(順に) 観心 明鏡

五、瞋るは地獄・食るは餓鬼・癡は畜生・諂曲なるは修羅・喜ぶは天・平かなるは人なり

六、「堯舜等の聖人の如きは万民に於て偏頗無し人界の仏界の一分なり」「不軽菩薩は所見の人に於て仏身を見る」「悉達太子は人界より仏身を成ず」のいずれか

### 【問二】

一、(順に) 二乗 久成

二、

イ、釈尊 天台（智者大師） 伝教

ロ、説くべき時ではなかったから

三、一念三千の仏種

四、釈尊の因行果徳の二法は妙法蓮華經の五字に具足す我等此の五字を受持すれば自然に彼の因果の功徳を譲り与え給う

五、

イ、2

ロ、3

ハ、1

### 【問三】

一、

イ、(省略)

ロ、(順に) 脱 題目の五字

二、人……地涌の菩薩

法……南無妙法蓮華經

三、(順に) 折伏 正法 法華 一念三千 大慈悲

【問四】

- 一、「三世の諸仏は此の経を師として正覚を成じ十方の仏陀は一乗を眼目として衆生を引導し給ふ」の趣旨
- 二、「法華経を経のごとく説く人」の趣旨
- 三、共通の趣旨の言葉……身に入る  
□に入る言葉……無明
- 四、
  - イ、「各各・随分に法華経を信ぜられつる・ゆへに過去の重罪をせめいだし給いて候」の趣旨
  - ロ、「平左衛門の尉がもとにて・うちふるまい・いゝし」の趣旨
- 五、行解既に勤めぬれば三障四魔紛然として競い起る乃至随う可らず畏る可らず
- 六、法華経

【問五】

- 一、法華経の敵
- 二、破和合僧
- 三、日蓮正宗……神札を受けるように学会に申し渡した  
創価学会……神札を受けることを拒否した
- 四、(省略)
- 五、(省略)

(2018. 10)